

## 院長ごあいさつ

令和5年6月1日で開院8年を迎えました。

思えばあっという間の8年間でした。この3年間は「新型コロナウイルス感染症」に振り回されました。ようやく「5類」へ移行はしたものの基本的にはそれはこちらの都合でありウイルスにとっては何ら変わっていないことを忘れてはなりません。現にいまだに感染者は確実に発生しています。ある程度の感染者数に達すれば集団免疫が獲得され発生者数は抑えられるでしょうがまだまだでしょう。インフルエンザのように抗ウイルス薬が開発・安定することの方が実際には現実的かもしれません。いずれにせよ今しばらくは当院では受診時の手指消毒ならびにマスク装着、受診時検温と簡単な問診は続けてまいりますのでご協力お願いいたします。

さて片頭痛治療におきましては一昨年春に画期的な治療薬が登場しました。これは片頭痛発症を抑制する注射薬です。片頭痛の痛みの原因となる CGRP を標的としたモノクローナル抗体薬です。2年間この薬を用いてきてその効果を目の当たりにしていますが、今現在はいつまで継続すればよいのかという問題に直面しています。すなわち「片頭痛が治る」という究極のゴールに結びつくまでの治療薬ではないということです。それでも着実に片頭痛の治療法は進歩しています。片頭痛は生活への支障度が大きい頭痛ではあるものの、世間一般からすると「ただの頭痛」として認識されてしまいます。ゆえに多くの患者さんは我慢しているのが現状です。それでも当院はそれら片頭痛の患者さんの苦痛の軽減につながるようところん付き合っておりまいます。患者さんが「もっと早く当院を受診すればよかった」と評価していただけるのが本当に私たちの喜びでありやりがいになります。

当院の診療理念は「患者さんがいなく病気の不安を笑顔にかえる」ということです。この理念は8年たっても変わりません。これからも初心を忘れず私たちスタッフ全員も笑顔で対応してまいりますのでどうかよろしくごお願いいたします。

令和5年6月1日

つぐ脳神経外科・頭痛クリニック  
院長 継 淳